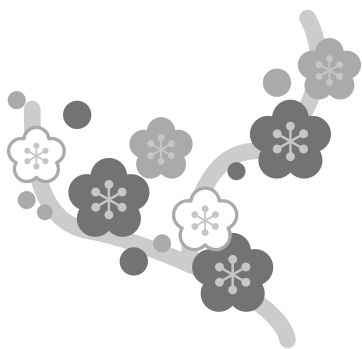


●平成29年度福島町水道
事業会計補正予歳（第2号）

水道事業費用の営業費用に12万円を追加しました。

☆発意

▽議会議員の歳費及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
▽義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書の提出について



■福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告（平成29年12月1日現在）

整理番号	18	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	【松前半島道路の整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について】 松前半島道路が必要だという住んでいる方々の思いを内外に示すのは、やはり各町の首長だと思う。アピールするために看板など何らかの手法や広報に掲載するなどの活動が必要と感じているが如何か。 緊急時に対応した松前町と福島町の間の新たな路網整備について、今はルートが2本ある。松浦～白神間は松前町と協議して道道への昇格を要望しているが、今現在、緊急時に対応できる道路となっているのか。				
取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.11.15 松前半島道路建設促進期成会東京要望（町長出席） （北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会、高規格幹線道路函館・江差自動車道早期建設促進期成会、函館広域幹線道路整備促進期成会と合同で実施） ・H29.11.16 渡島西部4町商工会・議会・町合同による東京要望（商工会副会長・議長・町長出席） 				

整理番号	21	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	高齢者福祉に関連した様々な予算、事業がある中で四季を通じて見守る組織作りがこれから我々の町としてもっとも必要なことと考えます。 内容はそれぞれあるが、考え方の根幹は同じだと思おう、四季を通して高齢者がどういう状況でどうしてもらいたいのか、情報をいち早く得ることと、特に冬期間に町内の事業者、次世代を担う若い方々の雇用の場の創出を考え、組織編成し、意見を聞きながら高齢者に向けたサポート事業の展開をなされた方が良いと思うが町長のお考えを伺いたい。				
取り組み状況	11/15社会福祉協議会と高齢者の冬期間排除説について協議を実施 社協による安心生活訪問調査により、町、社協の除排雪事業について助成制度を知らない世帯があるとの報告があり、まずは制度の周知を優先に、町広報12月号で、町助成制度と社協除雪ボランティア事業の記事を掲載し、高齢者の冬期間の除排雪に対する不安の解消を図ることとした。				

整理番号	22	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	【定住・移住促進に向けた考え方について】 町長は1回目の答弁の中で定住促進なり水産業、農林業それぞれに奨励金を出して、それなりの成果を得ている、また、出産祝金を始めてからは第3子以降の出生数が増加傾向にあり、人口減少の緩和を見ていることから一定の成果は上がっているという判断の下でまだ検証はしていないということですが、総合計画の後期実施計画策定までに制度の検証をしていきたいという考えでよろしいですか。				
取り組み状況	定住・移住施策の検証については、これまでの成果や課題などの洗い出し、また、これまで制度の対象となった方から意見を聴取することなども必要でありますので、検証方法等について担当課を中心に協議を進めております。				

整理番号	23	議員名	川村 明雄	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	【定住促進住宅等奨励事業費（平成28年度福島町一般会計歳入歳出決算認定について）】 同制度での中古住宅購入は500万円以上でなければ該当にならないが、福島町の現状は500万を超える取引が年に1件あるかないかであり、ほとんどが500万以下。若い人は100万円以下で取引し、リフォームして住み、リフォーム代の方が取得費よりも莫大に高いという現状があることから、中古住宅取得の下限については100万円以下まで対象とし、助成額も固定額ではなく購入価格の10パーセントとしたほうが有効と考える。また、リフォーム代他に、不動産取得税、固定資産税等、住宅取得後の費用もあることから、現状を十分分析し、福島町の現状にあった定住対策を進めて頂きたいと思うが町長の考えは。				
取り組み状況	定住促進住宅等奨励事業の検証については、町内における中古住宅の取引実態を把握することが必要でありますので、まずは、庁内における資料等で把握が可能な範囲において調査を進めてまいりたいと考えております。				